

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	さわやか愛の家しものせき館		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日	～	2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームワーク	朝礼や終礼に加え、チャットツールを活用した情報共有を行い、職員間の円滑なコミュニケーションに努めています。また、役割分担を明確にしなが互いにフォローし合う体制づくりを進め、支援の統一と質の向上を図っています。また、事例検討や日々の振り返りを通して支援の方向性を共有し、子どもたちの変化や成長をチーム全体で支える体制を整えています。	今後も職員同士が安心して意見交換できる環境づくりを進めるとともに、支援実践の共有を積極的に行い、より専門性の高いチーム支援の構築を目指します。
2	支援の質	定期的な研修への参加や支援内容の共有を行い、一貫した支援の提供に努めています。 ・SC（シークレットチャレンジ）活動 ・とりまぼくす（やってみたいを実現する取組）を実施し、子どもたちが安心して新しいことに挑戦できる機会を提供しました。これらの取組を通して、 ・自己決定の経験・挑戦する経験・失敗しても立て直せる経験を積み重ねる支援を行っています。	アセスメントやモニタリングを活用しながら、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切に支援を継続します。また、余暇活動の充実を通して、ICFの視点に基づいた「活動」と「参加」の機会の拡大を目指します。
3	活動内容の充実	活動の目的やねらいを明確にし、子どもたちが主体的に参加できるよう支援しています。楽しいだけでなく、ねらいを意識して活動の目的を明確にしています。選択肢を用意して一人ひとりに合わせた活動の工夫をしています。	今後も子どもたちの興味や関心を人切にしながら、余暇活動の選択肢を広げ、屋外活動を取り入れたり、主体的に参加できる活動を充実させていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	地域との交流の機会は徐々に増えてきていますが、事業所の取組について地域への周知が十分とは言えない部分があります。また、日々の支援を優先する中で、地域交流の機会が限られていることも課題となっています。	夏祭りやイベント等の開催を通して地域との交流機会を増やしています。今後は、事業所の取組についてもSNSや広報誌等で発信を行い、地域とのつながりを深めていきます。地域の人たちに取組みを知ってもらう機会も必要だと考えられます。
2	建物の古さと狭さ	活動スペースが限られているため、活動内容によっては十分な空間確保が難しい場合があります。また老朽化等により空調やバリアフリー対応の面でも充分とは言えません。家具のレイアウトの工夫などでスペースの有効活用を行なっています。	家具配置の工夫や公共施設、屋外活動の活用などを行い、安全で過ごしやすい環境づくりを行っています。小規模なリフォームなどで少しでも快適な環境をつくることのできるよう工夫します。また助成金や補助金を活用して長期的な目線で設備の改修を進めます。
3	職員の数と入れ替わり	職員体制の変化により、一時的に業務負担の偏りが生じる場合があります。利用者様やご家族にご迷惑をおかけすることがないよう職員間で連携を図りながら支援を行っています。	働職員同士の連携や情報共有を強化し、安定した支援体制の維持に努めています。また、働きやすい環境づくりを進め、職員の定着と支援の質の向上につなげていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さわやか愛の家しものせき館

公表日 2026年2月28日

利用児童数 28名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	7	1	1	日々の人数にもよりますが、手狭かな…と感じる所はあります。	限られたスペースのために皆様にはご不便おかけし申し訳ございません。現状、想定されていた以上のご利用をいただいております。大きな動作を伴う活動の際は外部の施設等を利用する形も取りながら行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	2	退職等で職員が少ないと感じる時もありますが、質の低下を感じた事はありません。職員さんが入退職したことがわからないからなんとも言えない	定員10名の場合、国の基準では2名の直接支援職員の配置を求められており、その基準を順守しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	1	2	静養室は、布団の上に段ボール（テントとか外で使うものが）がおいてありますが、体調不良になったらそこで寝るのかな？と思うと逆に感染症とか心配です	ご指摘の取り設備のバリアフリー化については十分ではありません。事業所内外での移動に関しては職員が必要な援助を行います。衛生面についてはご指摘を受け複数枚清潔なシーツの準備や保管方法の見直しを行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3	1	1	空間に関しては質問1と同じ意見です。三番と同じです	スペース上の問題はありますが、活動内容の工夫や時間をずらすなどをしております。また、室内に準備する物についても創意工夫をはかり、季節感や安心感を得られる環境整備を続けて参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0	子どもが好きなことややりたいことを取り入れてもらっている。子供の特性を理解していただいた上で、過度な関わりを避けながら支援されている、と思います。食べることで落ち着かせているように見えます	保育士などの国家資格に加えて、感覚統合理論やビジョントレーニングなどの活動も職員研修なども行い職員の専門的スキルアップをおこなってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1	職員による手作りおやつがウリですってHPにありますが実際はちょっとちがうようにも思います	支援プログラムの公表を行っています「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域の補点に則った支援を提供してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	親の希望を反映してくれている。個別計画作成時に面談した内容が計画に反映されていると思います。計画はかけます。	常勤の職員が毎日の支援の中や、日々の療育の中で、支援内容についてのご意見やご要望をうかがい、適切に対応していくように努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0	内容も書けてます	引き続き、ガイドラインで示されている項目について適切に設定してまいります。具体的項目につきましては、日々の支援の中で注意すべき点や着目すべき点を記載しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1	子供が食べることしか言わなくなってきた	引き続き計画に基づいた支援を提供するとともに、つねにニーズを反映させてまいります。今後ともよろしくお願ひ致します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	1	0	いろいろな活動が計画されており、とても良い。SCで、家庭ではなかなかできないようなことを取り入れてもらえていてありがたい。毎回外出はうちの子は参加できない日がある	似たような活動でも細かい部分で変化させたり、毎回ちょっとした発見ができるように工夫しております。また固定化されないよう様々な活動の立案から実施までを行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	2	6		なるべくなら他のこどもと交流する機会を持つべきではありますが、現在そこまで支援の提供が至っておりません。外出レクを通して地域の商業施設や公園施設の利用で、事業所だけではなく様々な場所で過ごす体験を提供しております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	0	利用始めるときに言っていたような気がする。と言うくらい前から利用しているのでわかりません	ご利用にあたりまして、各種様々な情報の伝達を行ってまいります。ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。また事業所HPにも情報を掲載しておりますのであわせてご確認ください。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0		引き続き丁寧な説明を行なってまいります。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	2	5	家族も参加できるイベントをやっている。もう少し回数が増えればうれしい。 夏祭りは知っているけどそれ以外はわからない	ご家族様に対しては個別に相談していただき対応しております。また定期的に行事への参加など交流できる機会を設けていきますので是非ご活用ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	0	1	連絡帳はもちろん、帰りにその日の様子を教えてもらえる。 最近自傷が多いけど、そんなこと無いです。帰宅時にいつても来てたくしてすぐ見たらひどくなっていることが多い。	連絡帳や送迎時などの直接連絡のみならず様々な方法でお伝えする機会を持ちます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	3	0	定期的ではないですが、相談は随時させていただきます。 保護者のしんどさはわからないと思います。伝えてもしんどいですねえとどこか他人事なことが多いです。	現在個別に対応させて頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	1		微力ではありますが、少しでもお力になれるように尽力してまいります。またスタッフ間での共通理解を深めてより良い支援を模索します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	1	5	回数が増えればうれしい。	必要に応じてご家族を通しての交流の機会や様々なイベントの開催などをこれからも企画してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	4	いつも迅速に対応していただき感謝しています。	各種ご相談や申し入れにつきましては随時受け入れしております。また行政等への窓口は契約時にお渡ししております重要事項説明書にてお示しておりますのでご確認ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	0	メールで突然のお願いをする事が多々あり、申し訳ありません。いつも丁寧に変えていただき感謝しています。 子供とはあるんじゃないですかね？	連絡帳や送迎時の連絡だけでなく様々な媒体を活用して情報伝達を進めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	1	1	SNSの写真いつも1人の子だけが利用しているかのような感じがある	ブログ、SNSにて活動内容をご報告しております。たくさんのお子様の様子もお伝えしてまいります。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1		ご意見に挙げていただいた点につきましては、安全性の観点から実行させて頂いております。ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	8		各種マニュアル類を整備しております。事業所にて閲覧いただくか、一部はホームページにも掲載しておりますのでご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	9		事業所では各種の災害に対する安全計画を策定しております。その計画に基づいて訓練等を実施しております。安全計画はホームページに掲載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	4		計画の周知を進めると共に、常に安全を確保した支援ができるように改善してまいります。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	1		事故等が発生した際には速やかにご報告させていただきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	1	たまに休みたがる。意地悪されるとか、行きたくないとか言うようになった。	ご意見ありがとうございます。安心して通所できる環境を整えていきますので今後ともご協力をお願いします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	4	0	1	楽しみにしすぎて日曜日や年末年始のお休みまで行きたくがっています。 本人が好きではないプログラムや決められたルールに対し、時折不満を漏らす時があります。 食べるときだけは、っておかしくないですか？	ご意見ありがとうございます。楽しく過ごせるように工夫して参りますのでご協力をお願いします。
29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		ご意見ありがとうございます。引き続きご満足いただけますように職員一同尽力して参ります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さわやか愛の家しものせき館				公表日	2026年2月28日
		チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	備品の位置などを工夫してスペースを確保しています。	児童福祉法の目安として一人当たり2.75mのスペースの確保を目指します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切な人員配置ですが、さらに常に目配りできる位置で支援に当たっています。	定員10名の場合、国の基準では2名の直接支援職員の配置を求められており、その基準を順守しております。十分な支援が行き届く様に、適切な数の職員の配置が必要と考え配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	物品の管理や置き場所など分かりやすいように工夫しております。	玄関スペースにはスロープを設置しておりますが、敷居や小さな段差、障害物などが点在しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		限られた空間であるが活動に合わせて机を移動したり工夫しています。	一人ひとりの子の好みや特徴を考えると十分ではないと感じられる部分もありますが、これからも工夫していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		着替えや体調不良の際には静養室などの支援室とは異なる部屋を準備しております。	部屋数が少ないため常設することが難しい状況です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		支援内容だけでなく様々な業務の改善のためのPDCAに、すべての職員が公平な立場で参加できる運営を行っています。	現在もPDCAサイクルをまわし、日々の業務改善を行っているが、不十分な部分もあるため、よりよい業務を行えるようにミーティング内容等工夫していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		今回のアンケートの収集の他、改善はがきを配布するなどして改善につなげています。	ご意見を受けてスピーディに改善できる体制を整えていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼ミーティングにて、日々の業務や支援内容に関する情報交換を行っています。	職員全体の意見交換の機会を設けているほか、管理職との1on1ミーティングを今後も定期的に関催し、より深く業務改善や働き方改革を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	本社監査室による内部監査を定期的にうけています。またマネージャークラスによる指導を受けて運営しております。	本社による内部監査は行われます、第三者による外部評価は事業所単位では行われていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月1回、愛の家全施設によるスキルアップ研修を開催されています。また、スキルアップ研修以外にも、虐待防止身体拘束防止研修、緊急対応訓練研修、BCP研修など、安全計画に策定された研修を行っています。	研修を行っており、全職員の資質の向上になっているかに関しては個人差があると感じられる。受け身の姿勢ではなく、より積極的に学ぶ姿勢の職員の育成に努めることが必要です。より一階層上のレベルを目指します。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		児童福祉法に則って、支援プログラムの作成を行いました。	作成を行い、自己評価アンケートとともに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		必要に応じて各種のアセスメントツールを用いたり、CFのフレームワークやニーズの整理表を使って整理しています。	十分に客観性を保たれているかということ意識し、家庭の養育行動に関してなどもアセスメントを行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員全員がガイドラインにもあるこどもの最善の利益を日々念頭におき、こどもたちと関わっています。	こどもの意向や保護者の方のニーズも相込み家族を含めた計画を今後も作成していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		原案の作成後は、支援会議を職員全員で行い支援内容の共有を必ず行っています。	計画に関しては、職員がどのように支援を行い、その結果はどうであったかの支援経過記録を丁寧に記載することでもモニタリングの際非常に重要のため、時間をかけて行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	ICFのフレームワークや社会生活能力検査を参考にしたアセスメントなどを使用のほか、日々の観察を多職種間で分析しております。	フォーマルアセスメントに関しては心理士の資格を保有している職員のみしか対応できないため、現在では難しいが心理士の入社促進を行い、実施を行ってきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインにのっとった計画の作成を行っています。計画の中にはそれぞれの支援の項目を示し、支援内容を設定しております。	地域の資源の活用や関係機関との連携の在り方を深めて、よりよい支援を構築していきます。事業所と家庭だけでなく地域社会全体での育ちをサポートできる体制を整えてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員が立案を行いその後児童発達支援管理責任者への確認及び、職員全体への活動内容の周知・打ち合わせをその都度行っています。	立案、検討、検証、実施、フィードバックなどのPDCAサイクルをより円滑に回すための仕組みづくりに取り組みます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		様々な活動を日ごとに担当者を定めて提供しております。	発達状況に合わせた個々の支援プログラムが提供できるように引き続き体制を整えてまいります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		支援計画には、こどもの発達に合わせ集団活動で行う支援内容、個別での対応で行う内容を職員が具体的にわかるように記載されています。集団・個別ともに組み込まれています。	個別活動に関しては、専門的実施をおこなっています。また、集団活動では様々な活動を行っています。職員一人ひとりのスキルアップを引き続き行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼では、本日の注意事項・タイムスケジュールの確認を行っています。	全職員が打ち合わせに参加し、職員全員に情報がわたるように今後も行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日の朝礼の際に、前日の活動内容の振り返りを行っています。	振り返りに関しては、なぜそうなったのかという原因の分析や、また良かった点に関しては、成功要因も記録し次回に生かします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録に関しては、支援経過記録に記入を行っており、こどもの行動に対しての職員の対応、対応後の変化や行動から見える成長や課題などを細かく記録していき、モニタリングに反映しております。	支援計画の記録までに時間が空いた場合、職員の記憶があいまいになる事があるため、その日または翌日には必ず記録する必要があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年ごとにモニタリングを行い計画の更新を行っています。すべての従業者が参画し適切な見直しとなるように努めております	長期的な展望を見据えながらもより短いスパンでの達成目標の検証も必要に応じて随時受け付けております。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」の4つの組み合わせを満遍なく集団活動に取り入れております。	各活動のバリエーションを多様なものとするほか、利用児童の自己選択自己決定を中心に構成できるようにします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		事業所が用意したカリキュラムに沿って行うものだけでなく、参加の可否や意思の表明の機会、活動の設計など利用児童の意思決定を大切に行っております。	計画段階から意見をくみ取り利用児童の自己選択自己決定自己効力感をもって支援に参加できる構成にします。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理職の他、普段の支援に携わる職員も参加しております。	管理職や児童発達支援管理責任者以外の直接支援員の参加も引き続き行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		地域の様々な社会資源を活用して支援を行っております。	積極的に情報収集や協力要請を行います。地域に対しても窓口の公開や協力体制を整備して、地域の中での事業所運営を進めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		利用日の情報や下校時間など学校との情報共有を行っております。送迎の遅れについては必ず連絡をしております。	引き続きコクからもさらに密な連絡や情報共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		関係機関への聞き取りや情報のやり取りを必要に応じて密に行います。	会議や、普段から連絡を行うなどして、良好な関係作りに取り組みます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		担当者会議の開催や相談支援員を通して随時必要な情報提供を行っております。	必要な情報を整理して、スムーズな移行ができるように体制を整えてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		開催される研修会への参加を行っております。また必要に応じて助言等が受けられる体制を整えております。	積極的に地域の中での役割を果たすことができるように体制を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	他の事業との交流は現在行なう事ができておりません。	地域のなかで孤立することがないように様々な環境での育ちを保障できる体制を整えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	管理者や児童発達支援管理責任者が必ず参加しております。	積極的に参加し、地域の一員として役割を果たしてまいります。
保護	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の挨拶や連絡帳では、その日の出来事や様子などの伝達を毎回行わせていただいております。また電話やメッセージアプリ等での相談を通じて随時共有しております。	様々な方法での情報共有を行い、発達の状況や課題等多様な情報の共有理解ができるようにしてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	特定の研修や訓練などを実施することはできておりませんが、要望に応じて個別に助言等させていただいております。	計画的に開催する体制を整えてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や各種の情報が変更になった際には、説明文の配布と同意をいただくなどしております。	HPへの掲載だけでなく、多様な手法にて情報が確実に届く体制作りを行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画の作成や変更の際には近況等のお話を聞かせていただき、本人の思いや保護者の方のご意向やご意見を反映させることとしております。	より一層最善の利益の保障のために、意見を聞く機会を設け、より一層子供の最善の利益の保障に努めてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画に基づき支援内容のご説明をさせていただき、同意のもと支援を提供しております。	より詳しく内容の説明や分かり易い項目設定にするなどの工夫を随時行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談があれば随時お話をうかがう場を設けております。お気軽にお問い合わせください。	よりいっそう窓口を明確に示し、どのように相談を行えばいいかなど、身近にお問い合わせしていただける体制を作ります。

観 者 へ の 説 明 等	40	大母の会の活動を支援する仕組みや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		夏祭りやバーベキュー等保護者や兄弟も参加できる活動を行うなど出来るだけ参加いただけるように工夫しております。	これからも定期的な開催や様々な方がご参加いただけるイベントの開催を目指します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		受付担当のほか、どの職員にお伝えいただきましても適切に届く体制を整えております。事業所だけでなく法人全体として取組み、改善させていただいております。	業界や法人全体での情報公開をしていける体制作りを行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		各種方法を用いて必要な情報提供を行っております。	確実にお届けできる方法を常に模索します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		写真などの同意を得られている場合であっても、使用の際には必要に応じてお声がけさせていただいております。	法律に則った個人情報の使用はもちろんのこと、安心してご利用いただくための指針の強化を行います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		それぞれの専門性に基づきまして、必要な配慮を心がけております。	手話やコミュニケーション機器などの技能の習得をし、より幅広いニーズに応えられる体制を整えます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	町内会長を通じて地域の行事への協力をさせていただきますいております。	積極的に行事を計画したり参加を促したりして馴染みやすい取組みを行ってまいります。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		安全計画に基づいて各種の研修、訓練を実施しております。各種マニュアルは施設にて誰でも閲覧可能です。	実態に合ったマニュアルの整備を行い、訓練を通して常により良い物にしていく努力をしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		自然災害、感染症対策に関するBCPを備え、必要な訓練や研修を随時実行しております。	専門家の意見をうかがい、幅広い訓練を行いながらより有効な業務継続計画の作成と運用を行ってまいります。また業務継続マネジメントができる人材育成に取り組みます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		半年に一度、健康状態や生活状況についてお聞かせ願っております。	各種の支援ができる人材育成のために、服薬やてんかん発作などの研修や訓練を行ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		実情としましては医師からの指導を必要とするレベルの方のご利用はございません。備えとしてはアナフィラキシーショックの際の対応の研修や訓練を実施しております。	「学校生活管理指導表」を共有しそれに基づいた対応を進めます。調理場や提供状況の整理をし、アレルギーの方の受け入れについても万全を整えていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		自然災害、感染予防、防犯、車両運転、支援提供中の事故など様々な観点から起こりうることに對して法人全体の知見の元、取り組んでおります。	安全計画についても不断に見直しを行い、訓練を通じて、より安全安心にご利用いただける環境を整備してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		施設内に誰でも閲覧可能な状態で保管しているほかHP上でも開示しております。	公開だけではなく、どれだけの方に届いているかの把握を含め広く周知いただけるように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎日前日の出来事を報告、集約し、週に一度会議にて原因分析と改善を行っています。	法人全体でのヒヤリハットの共有、分析、対策機能を強化し、より強固な安全対策のための体制を整えてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修や訓練を実施しております。	不適切な関わりについても常に意識し、安心してご利用いただける環境整備に取り組んでまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行わざるを得ないケースを想定し、可能性があれば必要最小限度の範囲で計画に反映しています。	より精密な状況の想定や身体拘束解除までの道筋を明確に示すなど体制を強化していきます。	